

2013-1

一次試験

筆記解答・解説

p.134~145

一次試験

リスニング解答・解説 p.146~160

二次試験

面接解答・解説

p.161~164

一次試験採点欄

解き終わったら、得点を下の自己採点欄に記入して、合格点と比較しましょう。

(※配点は1問1点)

筆記	リスニング	合計
35点	30点	65点

合格点

40
65点

公益財団法人 日本英語検定協会の発表による正式な合格点です。

解答一覧

一次試験・筆記

1	(1) 1	(6) 3	(11) 2
	(2) 3	(7) 4	(12) 4
	(3) 3	(8) 1	(13) 4
	(4) 2	(9) 1	(14) 2
	(5) 4	(10) 4	(15) 3

2	(16) 3	(18) 4	(20) 3
	(17) 4	(19) 2	

3	(21) 4	(23) 1	(25) 3
	(22) 2	(24) 3	

4 A	(26) 4	4 B	(28) 2
	(27) 3		(29) 4
			(30) 2

4 C	(31) 1	(33) 4	(35) 2
	(32) 3	(34) 3	

一次試験・リスニング

第1部	No. 1 2	No. 5 1	No. 9 2
	No. 2 1	No. 6 2	No.10 1
	No. 3 3	No. 7 1	
	No. 4 3	No. 8 3	

第2部	No.11 4	No.15 1	No.19 4
	No.12 2	No.16 2	No.20 1
	No.13 3	No.17 3	
	No.14 3	No.18 2	

第3部	No.21 3	No.25 4	No.29 2
	No.22 1	No.26 1	No.30 4
	No.23 3	No.27 3	
	No.24 2	No.28 1	

(1) 解答 1

訳

A「ボブ、あなたはコンピューターを持っているの？」

B「うん、でもあまりよく動かないんだ。とても古いんだよ」

解説

B の but 以降の主語 it はボブが持っている computer「コンピューター」を指しているの、動詞は work「動く、作用する」が適切。ask「～を尋ねる」、live「住む」、stay「滞在する」。

(2) 解答 3

訳

A「お母さん、公園へ行ってスティーブとサッカーをしてもいい？」

B「いいわよ、でも暗くなる前に家に帰ってきてね」

解説

come home「帰宅する」と before it gets ()「～になる前に」との意味的なつながりを考えて dark「暗い」を選ぶ。ここでの it は天候や時間などを表す文の主語で、「それ」という意味はない。true「本当の」、poor「貧しい」、main「主な」。

(3) 解答 3

訳

A「ジム、明日の午後に会議をすることはできる？」

B「ちょっと待って。ぼくの予定を確認するね」

解説

tomorrow afternoon「明日の午後」に meeting「会議、ミーティング」をすることが可能かどうか尋ねられているので、B が確認するのは自分の schedule「予定、スケジュール」。secret「秘密」、symbol「象徴」、season「季節」。

(4) 解答 2

訳

「私のアパートは7階にあるので、たいていエレベーターに乗る」

解説

～, so ...「～, だから…」の構文。前半の apartment「アパート」が the 7th floor「7階」にあるという流れから、elevator「エレベーター」が正解。neighbor「隣人」、message「伝言」、program「番組」。

(5) 解答 4

訳

「ブライアンは自分の部屋にコンピューターがあって、よくインターネットでいろいろな情報を見る」

解説

空所後の the Internet「インターネット」と意味的に結びつく動

詞は surf「(インターネット)にアクセスしていろいろな情報を見る」で、4 が正解。push「～を押す」、expect「～を予期する」、keep「～を保つ」。

(6) 解答 3

訳

「私の兄[弟]は、大学で料理を勉強した。彼は有名なレストランで、**シェフ**としての仕事を得たばかりだ」

解説

studied cooking「料理を勉強した」や in a famous restaurant「有名なレストランで」から、chef「シェフ」の仕事に就いたことがわかる。winner「勝者」、visitor「訪問者」、priest「司祭、聖職者」。

(7) 解答 4

訳

「日本の**首都**は東京だが、昔、それは奈良だった」

解説

The () of Japan「日本の～」と Tokyo「東京」を結びつけるのは capital「首都」。a long time ago は「昔」。pollution「汚染」、block「街区、ブロック」、tournament「トーナメント、競技会」。

(8) 解答 1

訳

A「今日ホワイトさんに話す**機会**はあった？」

B「ううん。忙しすぎたよ」

解説

a () to speak to ～「～に話す…」は get「～を得る」の目的語。前後と正しくつながるのは 1 の chance「機会」。get a chance to ～ で「～する機会[チャンス]を得る」という意味。humor「ユーモア」、money「お金」、type「型、タイプ」。

(9) 解答 1

訳

A「先週末は何をしたの、ナツコ？」

B「姉[妹]の結婚式へ行ったら。彼女は大阪で**結婚した**の」

解説

B は last weekend「先週末」に my sister's wedding「私の姉[妹]の結婚式」へ行っただと言っているのだから、got married「結婚した」が正解。surprised「驚いて」、worried「心配して」、crowded「混雑して」。

(10) 解答 4

訳

「私は電話で話しているの。テレビの**音量**を**下**げて」

解説

I'm talking on the phone.「私は電話で話している」という状況

と、最後にある down から、turn ~ down「～の音量を下げる」という表現にする。try「～を試みる」、make「～を作る」、miss「～を逃す、～がなくて寂しい」。

(11) 解答 2

訳

A「お母さんから電話があったわ、ジェイク。できるだけ早くあなたにお母さんへ電話をしてほしいそうよ」

B「わかった。今すぐに電話するよ」

解説

She wants you to ~ は「彼女（＝お母さん）はあなたに～してほしい」。call her「お母さんに電話する」に結びつきそうなものと考えて、as soon as possible「できるだけ早く」という表現にする。B の right now「今すぐに」もヒントになる。long「長い」、wide「（幅が）広い」、sure「確かな」。

(12) 解答 4

訳

A「きみはこの歌をピアノで弾けると思う？」

B「少し難しいけど、やってみるわ」

解説

a little で「少し」という意味で、ここではそのあとの difficult「難しい」を修飾している。最後の try は「この歌をピアノで弾いてみる」ということ。many「たくさんの」、more「より多くの」、less「より少ない」。

(13) 解答 4

訳

A「明日はキャシーの誕生日だけど、彼女に何をあげたらいいかわからないわ」

B「チョコレートはどう？ 彼女はチョコレートが大好きだよ」

解説

() to give her は know「～がわかる」の目的語になる部分。B の発話から、A はキャシーの誕生日に何をあげたらいいか迷っていることがわかる。what to ~（動詞の原形）で「何を～したらいいか」という意味になる。

(14) 解答 2

訳

「私の家の近くにある駅はとても古い。それは 70 年以上前に建てられた」

解説

build は「～を建てる」という意味の動詞。2 文目の主語 It は The station near my house「私の家の近くにある駅」を指しているのので、「建てられた」という意味の受動態〈be 動詞 (was) + 過去分詞 (built)〉にする必要がある。

(15) 解答 3

訳

A「ジョン、宿題は終わったんでしょ？」

B「うん、お母さん。2時間前に終わったよ」

解説

〈肯定文、否定形+主語?〉で、「～ですよ」と確認したり同意を求めたりする疑問文(付加疑問文)になる。ここでは主語が you, 動詞が一般動詞 finish の過去形なので、～, didn't you? の形になる。

一次試験・筆記

2

問題編 p.104

(16) 解答 3

訳

女性1「サリーはパーティーに来ると思う？」

女性2「**きっと来ると思うわ**。彼女はそのためにドレスを買ったって言っていたわよ」

解説

she bought a dress for it「彼女はそれ(=パーティー)のためにドレスを買った」から、女性2はサリーがパーティーに来ると予想している。正解3の I'm sure ～ は「きっと～だと思ふ」。will のあとに come to the party が省略されている。

(17) 解答 4

訳

女性「私が手に入れた本を見て、ティム」

男性「**ぼくはそれを読んだよ**。とても面白いよ」

解説

ティムの It's really interesting. から、女性が示した本をティムはすでに読んでいることがわかる。正解4の I've は I have の短縮形。ここでは〈have+過去分詞(read)〉という現在完了の文になっていて、「～を読んだ」という意味。

(18) 解答 4

訳

男の子「今日の数学のテストは難しそうだね」

女の子「**どうしてわかるの？**」

男の子「ジョーンズ先生が昨日、授業でぼくたちに言っていたよ」

解説

男の子の Mr. Jones told us「ジョーンズ先生がぼくたちに言った」につながる質問として適切なのは4の How do you know? で、「どのようにしてわかるの」、つまり、「(今日の数学のテストが難しそうだということが) どうしてわかるの?」ということ。

(19) 解答 2

訳

男性「ケイト、今週末はカリフォルニアで何を**する予定なの？**」

女性「海辺へ行ったり、買い物に行ったり**するつもりよ**」

解説

女性が go to the beach「海辺へ行く」や go shopping「買い物に行く」という自分の行動を述べており、be going to ～「～するつもりだ」という未来を表す形を使っていることから、男性は女性に this weekend「今週末」の予定を聞いていることがわかる。正解 2 の be planning to ～ は「～する予定である」。

(20) 解答 3

訳

父親「ジェシカはどうして泣いているんだい？」

息子「外で走っていて、**転んだんだ**」

解説

cry は「泣く」。父親はジェシカがどうして泣いているのかを尋ねていて、その理由になっているのは 3。fell は fall の過去形で、fall down で「転ぶ」という意味。

一次試験・筆記

3

問題編 p.105

(21) 解答 4

正しい語順

Can you (give **me** some money **to** buy a book), Mom?

解説

動詞 give を〈give + 人 (me) + 物 (some money)〉「(人)に(物)を与える」の語順で使うことがポイント。このあとで、some money がどのようなお金であるかを〈to + 動詞の原形 (buy)〉を使って表す。to buy a book「本を買うための」が直前の some money を修飾する文にする。

(22) 解答 2

正しい語順

(We're **glad** that **your daughter** passed the test).

解説

文の主語と動詞になる We're で始め、「うれしい」を意味する glad を続ける。このあとに that 節〈that + 主語 + 動詞 ～〉を使って、glad「うれしい」という感情の原因を続ける。that 節中の主語は your daughter「あなたの娘さん」、動詞は passed「～に合格した」。最後に、passed の目的語になる the test をつなげる。

(23) 解答 1

正しい語順

It (was **fun** to make **cookies** with my grandmother).

解説

「楽しかった」+「祖母とクッキーを作るのは」の語順で考える。前半は、It was fun とする。文頭の It は仮主語と呼ばれ、後半でその具体的な内容を〈to+動詞の原形〉「～することは」(ここでは to make) で表す。make の目的語 cookies のあとに、「祖母と」を意味する with my grandmother をつなげる。

(24) 解答 3

正しい語順

解説

I often see (Mr. Taylor on my way home from school).
see「～を見る」のあとに、その目的語となる Mr. Taylor をつなげる。「～から帰宅する途中で」は on one's way home from ～ という決まった表現。主語が I なので、one's が my になる。

(25) 解答 3

正しい語順

解説

Doing (your best is more important than winning).
主語は「全力を尽くすこと」で、Doing your best とする。このあとに、動詞の is を続ける。「～より大切です」は〈比較級+than ～〉を使って more important than ～ とする。than のあとに、「勝つこと」を意味する winning をもってくる。

一次試験・筆記

4A

問題編 p.106～107

ポイント

環境保護活動を行っている団体によるイベントのお知らせ。時間とともに各イベントの内容が書かれているので、いつ、誰が、何をするかを中心に読み取ろう。

全訳

ポートタウン・エコクラブの終日イベント

環境を救いに来てください!

場所: ウェストポート図書館 101 室

時: 5月26日 日曜日

午前10時から正午まで、環境に関する講演を聞きます。エコクラブの会長であるケイティー・ブラウンさんが、リサイクルをするよりよい方法を私たちに教えてくれます。ポートタウン大学のアン・プライスさんは、川の清掃方法について話をします。

午後1時から午後3時まで、町中を歩いてゴミを拾います。午後3時30分に、木を植えます。

何かご質問がある方は、

5月25日土曜日の午後5時までに、ブラウンさん
ecokatie@pt-ecoclub.com までEメールを送ってください。

語句

all-day「終日の」, environment「環境」, a.m.「午前」, president「会長, 代表」, recycle「リサイクルをする」, clean up「～を清掃する」, p.m.「午後」, pick up「～を拾う」, garbage「ゴミ」, plant「～を植える」, e-mail「～にEメールを送る」

(26) 解答 4

質問の訳

「この掲示は何についてか」

選択肢の訳

- 1 環境に関する本を売っている店。
- 2 エコクラブの会長との昼食。
- 3 ポートタウン大学の新しい図書館。
- 4 環境を救うためのイベント。

解説

質問の notice は「掲示, 案内」。お知らせの見出し Port Town Eco Club's All-Day Event「ポートタウン・エコクラブの終日イベント」と, その下の Come and help the environment!「環境を救いに来てください!」から, ポートタウン・エコクラブが行う環境保護のためのイベント案内であることがわかる。

(27) 解答 3

質問の訳

「人々は川の清掃についていつ学ぶことができるか」

選択肢の訳

- 1 5月25日の午前。
- 2 5月25日の午後。
- 3 5月26日の午前。
- 4 5月26日の午後。

解説

When「時」の欄の Sunday, May 26 から, イベントが行われるのは5月26日だとわかる。また, cleaning up rivers については, From 10 a.m. to noon「午前10時から正午まで」で始まる段落の中に Ms. Anne Price ... will talk about how to clean up our rivers. と書かれている。

一次試験・筆記

4B

問題編 p.108~109

ポイント

マリとステイシーとのEメールによるやりとりで, 主な内容は, マリからステイシーへの夏祭りの誘い⇒ステイシーの返事と質問⇒ステイシーの質問に対するマリの回答。夏祭りへ行く前に何をするか, 夏祭りでは何を楽しむことができるかなどを中心に読み取ろう。

全訳

送信者: タバタ マリ

受信者: ステイシー・ヘンダーソン

日付：2012年7月1日 15時45分

件名：夏祭り

こんにちは、ステイシー！

夏休みを楽しんでる？ 土曜日に、私の家の近くにある公園で大きなお祭りがあるの。私と一緒に行かない？ 母が、自分の浴衣の1枚をあなたが借りてもいいって言ってたわ。浴衣は夏に着る着物の一種なの。あなたが3時頃に私の家に来れば、母が浴衣の着付けを手伝ってくれるわ。お祭りでは、たくさんの種類の日本食を食べたり、伝統的なゲームをしたりできるの。お金はかからないけど、2,000円くらいは持ってきた方がいいわ。7時30分に、花火大会があるわ。母があなたを車で家まで送っていくから、9時までには家に着くわ。

会いたいわ、

マリ

送信者：ステイシー・ヘンダーソン

受信者：タバタ マリ

日付：2012年7月2日 10時24分

件名：すぐに会いましょう

こんにちは、マリ、

私を誘ってくれてありがとう。ぜひ行きたいわ。ピアノのレッスンが3時までだから、3時30分にあなたの家へ行けるわ。それでいいかしら？ 今まで浴衣を着たことは一度もないの。あなたのお母さんにありがとうって伝えてね。日本人は夏祭りでよく踊るって聞いたわ。それをやってみるのを楽しみにしてるわ。私は日本食があまり好きじゃないの。お祭りでは他の種類の食べ物もあるかしら？

ステイシー

送信者：タバタ マリ

受信者：ステイシー・ヘンダーソン

日付：2012年7月2日 16時07分

件名：お祭り

こんにちは、ステイシー、

あなたが来られてとてもうれしいわ。3時30分で大丈夫よ。お祭りは5時に始まるので、時間はたくさんあるわ。そう、私たちは踊ることができるわよ。とても簡単よ。食べ物については心配しないで。フライドチキンやフライドポテトといった軽食もたくさん

んあるわ。私のお気に入りには、チョコレートでおおわれたバナナよ。とても楽しくなりそうね！

それじゃまた、
マリ

語句

borrow「～を借りる」, a type of「～の一種、一種の～」, put ~ on「～を身につける」, traditional「伝統的な」, expensive「値段が高い、お金がかかる」, yen「円」, firework(s)「花火」, would love to ~「ぜひ～したい」, worn < wear「～を着ている」の過去分詞, look forward to ~ing「～するのを楽しみにする」, fried chicken「フライドチキン」, French fries「フライドポテト」, covered with ~「～でおおわれた」, have fun「楽しむ」

(28) 解答 2

質問の訳

「マリはどうしてステイシーに家に来てもらいたいのか」

選択肢の訳

- 1 彼女たちは一緒に日本食を作る。
- 2 マリの母親がステイシーの浴衣の着付けを手伝う。
- 3 彼女たちは一緒に踊りの練習をする。
- 4 ステイシーがマリに日本のゲームを教える。

解説

マリが書いた最初のEメールの6文目に、If you come to my house around three, my mom will help you to put it on. とある。put ~ on は「～を身につける、着る」という意味。it は、その前に出てくる yukata「浴衣」を指している。このことを、〈help + 人 + with ~〉「(人) の～を手伝う」を使って表している 2 が正解。

(29) 解答 4

質問の訳

「ステイシーは祭りで何をするのを楽しみにしているか」

選択肢の訳

- 1 日本食を食べること。
- 2 花火の写真を撮ること。
- 3 美しい浴衣を買うこと。
- 4 日本の踊りを踊ってみること。

解説

質問と同じ表現 looking forward to ~「～するのを楽しみにしている」が含まれている2番目のEメールの8文目を見る。I'm looking forward to trying that. の that は、前の文の Japanese people often dance at summer festivals を受けて、「夏祭りで踊ること」を指している。

(30) 解答 2

質問の訳

「マリとステイシーは土曜日の何時に会うか」

選択肢の訳

1 3時に。

2 3時30分に。

3 5時に。

4 7時30分に。

解説

ステイシーは2番目のEメールの3~4文目で、... so I can come to your house at 3:30. Is that OK? と尋ねている。それに対して、マリは3番目のEメールの2文目で、Three thirty is fine. 「3時30分で大丈夫よ」と答えているので、2人は3時30分にマリの家で会うことがわかる。

一次試験・筆記

4C

問題編 p.110~111

ポイント

傘が誕生してから、今日一般的に使われている傘ができるようになるまでの経緯が書かれた、5段落構成の英文。世紀、年、年代などの時を表す語句とともに、それぞれの時代における傘にまつわる歴史が書かれている。段落ごとに、いつ、どこで、どのようなことが起こったかを整理しながら読み進めよう。

全訳

雨の日のために

雨の日には、たくさんの人が傘を持っているのを見るだろう。ときどき、人々は晴れているときにも傘を使う。でも、傘はどこで生まれたのだろうか。

傘は、エジプトや中国といった国々で何千年も前に使われた。当初、人々は暑い日に涼しく過ごすためだけに傘を使った。そのあと、雨用の傘が中国人によって作られた。

ヨーロッパでは、人々は17世紀に傘を使い始めた。当時は、女性だけが傘を使った。女性たちは傘がかわいく見えると思った。だから、ジョナス・ハンウェイという男性がロンドンで傘を持ち歩いたとき、人々は彼のことを笑った。彼は30年間傘を使い続けて、他の男性たちも傘を使い始めた。彼らはよく、ジョナス・ハンウェイにちなんで、自分たちの傘を「ハンウェイズ」と呼んだ。

1830年に、傘だけ売る最初の店がロンドンにオープンした。それは今でもそこに、ニューオックスフォード街53番地にある。その当時、傘はたいてい木製で、とても重かった。それから1852年に、サミュエル・フォックスという男性がスチール製の傘を発明した。しかし、裕福な人たちだけがそれを買うことができた。

1920年代にドイツで、ポケットに入れることができるとても小

さな傘をある人が発明した。この傘は、今日一部の人が使っている傘に似ていた。1960年代に、ナイロン製の傘が軽くて安いということで人気になった。それから、傘を使う人の数は世界中で増えた。今日、アメリカ合衆国では毎年約3,300万本の傘が売られ、そのほとんどは中国製である。

語句

thousands of 「何千もの～」, such as 「～のような」, Egypt 「エジプト」, at first 「はじめは」, call 「～を…と呼ぶ」, sold < sell 「～を売る」の過去形及び過去分詞, at that time 「その当時」, be made of 「～(材料)で作られている」, the 1920s 「1920年代」, Germany 「ドイツ」, like 「～に似た」, cheap 「安い」, 33 million 「3,300万(の)」, most of 「～のほとんど」

(31) 解答 1

質問の訳

「人々はどこで最初に雨の日用の傘を作ったか」

選択肢の訳

- 1 中国で。
- 2 エジプトで。
- 3 ドイツで。
- 4 イングランドで。

解説

質問では umbrellas for rainy days 「雨の日用の傘」について尋ねていることに注意。第2段落の3文目に、Later, umbrellas for the rain were made by the Chinese. とある。be made by ～は「～によって作られた」で、中国人によって作られたということから1の In China. が正解。

(32) 解答 3

質問の訳

「ロンドンの男性たちが自分の傘を『ハンウェイズ』と呼んだ理由は」

選択肢の訳

- 1 ジョナス・ハンウェイが傘を発明した。
- 2 ハンウェイズという名前の傘の店があった。
- 3 ジョナス・ハンウェイがそこで傘を使った最初の男性だった。
- 4 傘はハンウェイという名前の町で作られた。

解説

第3段落の最後に、They often called their umbrellas “Hanways” because of Jonas Hanway. とある。because of ～は「～のために、～が理由で」で、ここでは、ジョナス・ハンウェイにちなんで傘を「ハンウェイズ」と呼んだということ。ハンウェイについては、同じ段落の4文目 a man called Jonas Hanway

carried an umbrella around London から、女性だけが傘を使っていた時代に、男性として初めて傘を使った人物だとわかる。

(33) 解答 4

質問の訳

「ニューオックスフォード街 53 番地に何があるか」

選択肢の訳

- 1 ジョナス・ハンウェイの家。
- 2 サミュエル・フォックスの工場。
- 3 傘の博物館。
- 4 最初の傘の店。

解説

第4段落の2文目に、It is still there today, at 53 New Oxford Street. とあるので、この It が指すものが正解になる。It は、前の文に出ている the first shop that only sold umbrellas 「傘だけ売っている最初の店」を指している。これを短くまとめて The first umbrella shop. と表現している 4 が正解。

(34) 解答 3

質問の訳

「ポケットに入る傘はいつ発明されたか」

選択肢の訳

- 1 1830 年に。
- 2 1852 年に。
- 3 1920 年代に。
- 4 1960 年代に。

解説

第5段落の1文目にある In the 1920s in Germany, someone invented a very small umbrella that could be put in your pocket. から、3 が正解。この文では、a very small umbrella 「とても小さな傘」を、そのあとの that could be put in your pocket 「ポケットに入れることのできる」が修飾している。

(35) 解答 2

質問の訳

「傘はいつ世界中で人気になったか」

選択肢の訳

- 1 雨がたくさん降り始めたとき。
- 2 人々がナイロン製の傘を使い始めたとき。
- 3 サミュエル・フォックスがスチール製の傘を作ったとき。
- 4 アメリカ人が傘を作り始めたとき。

解説

第5段落の3文目 In the 1960s, nylon umbrellas became popular と次の Then, the number of people who use umbrellas grew around the world. から、1960 年代に nylon umbrellas 「ナイロン製の傘」が人気になり、それから世界中で傘を使用する人が増えたことがわかる。the number of ～ は「～の数」、grew は grow 「増える」の過去形。